

新高教第91回定期大会「教文関係資料」

《新高教第47次県教育研究集会》

- (1) 開催日:2021年10月23日(土)午後(当日日程は調整中)
 (2) 内 容:講演を中心とした全体会(分科会開催なし)
 (3) 仮 題:教育のICT化の虚実を問う!GIGAスクール構想・「令和の日本型学校教育・スクールミッション」中
 教審答申・高等学校新学習指導要領完全実施がもたらす教育の危機
 (4) 講師①:中村文夫さん プロフィール



教育行財政研究所主宰。38年間公立小学校事務職員として勤務。著書は『子供部屋の孤独』(学陽書房)、『市場化する学校』(八月書館、共著)、『学校財政』(学事出版)、『子どもの貧困と教育の無償化』(明石書店)、『学校事務クロニクル』(学事出版)など。『世界』(岩波書店、20年5月号)に前川喜平氏、辻元氏とともに「デジタル教育の虚実」特集に論考掲載。

※左新刊(岩波書店、21年7月16日発売)

講師②:石川多加子さん(憲法学 金沢大学准教授)

プロフィール 渡辺元委員長時代より実質的シンクタンクとして新高教運動に多大なる貢献。20年度も「燕市教育長戦争容認問題」や「自民党いじめ条例問題」で助言。教基法改悪阻止で設立の「平和・人権・民主主義の教育の危機に立ち上がる会」代表。

《第72回全国人権・同和教育研究大会 兼 第28回新潟県同和教育研究集会》

- (1) 確認事項:11月13日(土)~14日(日)に上越市(一部妙高市)での開催に向けて準備をすすめてきましたが、新型肺炎禍の状況を考慮して、**「第72回全国人権・同和教育研究大会(新潟大会)は全体会・分科会・特別分科会は開催せず、大会資料(報告・資料集)をもって大会の開催とする」**ことを決定(全人教本部決定6月29日、県実行委員会7月1日)。
- (2) 本部対応:当初計画で新高教への動員要請30人の割り振りについて、6月19日付第19-1号要請文で、柏崎支部及び上越支部より「各分会1人」の参加者氏名の報告を求めましたが、会場に参集しないことが決まったことから、7月5日付第32号要請文で両支部への要請中止をお伝えしました。
- (3) 今後について:7月13日開催の県同教臨時理事会で、事務局より「全人教大会に向けて報告予定者20人余りの方々が、長い方では約3年間実践報告を準備されてきた。県内独自で報告の場を設けたい」として開催内容、日程等にかかわる原案が提起されました。理事会では、**「県内独自開催の方針は了。開催内容等については加盟各団体の意見をとりまとめて早急に具体案を再提起する」**ことを確認しました。

《6.19支分代での問題提起『生理の貧困』への対応経過》

- (1) 対応経過:県教委、市教委より検討状況確認(県:国交付金活用検討中、市:民間団体に寄付等)本部執行委員会や各幹事会に問題提起。市議・県議等との意見交換実施。新教連中心に学習会開催等模索。
- (2) 今後について:**とりくみ目標を共有するための協議の積み上げ必要。**
 ※学校内で生理用品の無償提供をすべきなのか?無償配付で済まない、個人の尊厳にかかわる問題ではないか?格差拡大社会の是正、労働搾取の解消など求めるのか?学校における性教育内容にまでかわる問題ではないか?等々、この間様々なご意見をいただきました。